

やまとの 未来の学園づくり かわら版

vol.10

令和5年4月から5月にかけて、大和地域の各学校運営協議会・PTAを対象に、施設一体型小中一貫やまと学園の「これまでの取組」と「これからの流れ」について、教育委員会による説明会が開催されました。

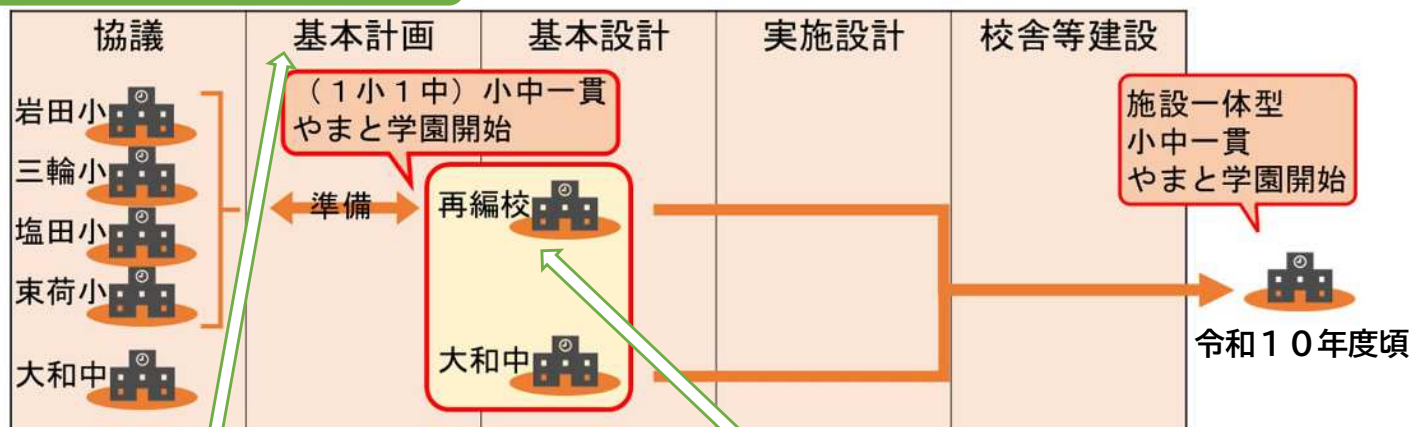


これまでの取組について

- 昨年度当初から様々な場で説明会を開催させていただき、5校全ての学校運営協議会において、「準備委員会」設置について、合意をいただきました。
- 昨年11月1日に「準備委員会」を発足し、委員長をはじめ、学校運営協議会会長、PTA会長、校長先生、教頭先生、コミュニティセンター館長、地域学校協働活動推進員、その他委員の方々にたいへんご尽力をいただき、これまでに「学園の場所」「協働的な学びの確保」「目指す学園像」の3つの大きなテーマについて協議を終了することができました。

ご協力、誠にありがとうございました。

これからの流れについて



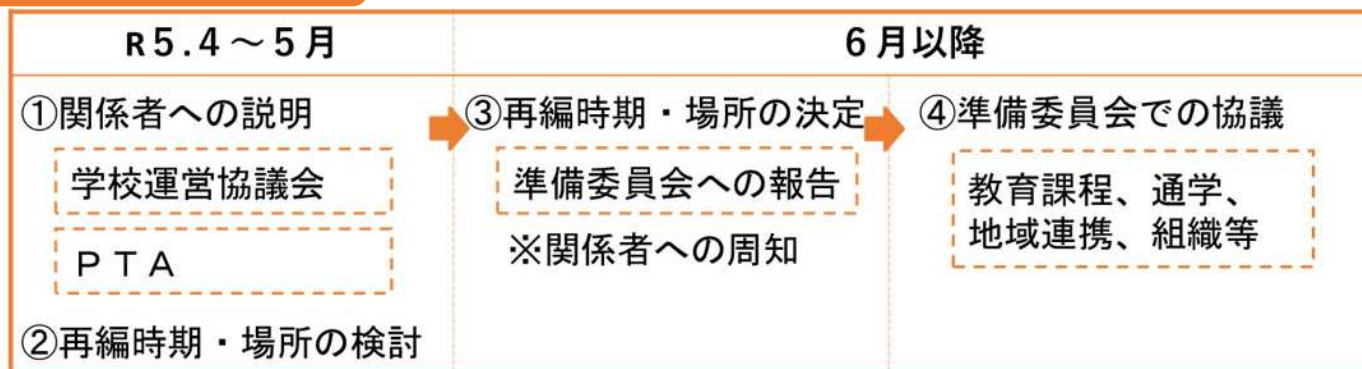
基本計画とは

一般の家づくりで例えると、「家族団らのスペースが欲しい」「トイレは2つ欲しい」など、どんな建物・空間にしたいかというテーマやコンセプトになります。準備委員会で検討した「目指す学園像」を基本に、本年度策定します。

小学校の再編

- 時期** 令和7年度以降のできるだけ早い時期を念頭に、児童の負担や地域との連携等も考慮しながら再編に向けての調整を進めます。
- 場所** 安全・安心の観点や、学習環境・施設の状況等を総合的に考慮し検討します。

令和5年度の流れ





説明会（令和5年4月～5月開催）でいただいた質問や意見について紹介します。

各学校の学校運営協議会等からいただいたご質問及び回答（抜粋）

Q. 4小学校の再編に当たって校歌や校章など、これらの検討事項は教育委員会で決めるのか？

A. 準備委員会の部会で協議してもらう内容になるが、協議を円滑に進めるために、他自治体の事例等の材料を用意したい。

Q. 小学校の再編後から施設一体型小中一貫やまと学園新設までの間、学校の在り方はどう変わるのか？

A. 施設一体型小中一貫やまと学園の新設より先に、4つの小学校が一緒になって新たな小学校ができる。その時点から施設分離型（1小1中）の小中一貫やまと学園がスタートする。

Q. 再編学校で児童が集まる手段については、地域がそれぞれ考えることになるのか？

A. スクールバスの運用も想定されるため、準備委員会の通学部会等で具体的に協議していく。

Q. 学校が1つになったら先生の手数は減るか？

A. 小学校1校分、中学校1校分の人数となるため、現在の全体数に比べると減ることになるが、再編時には加配の特例措置を県に要求していきたい。

Q. 施設一体型小中一貫やまと学園は小学校と中学校の校舎は分かれるのか？

A. 小・中学校の施設が同一敷地内で接続又は一つに合体した形態となる。小学校と中学校の校舎の形態や住み分けについては、共用・共有する空間を検討していくことになるため、今年度策定予定の「施設整備基本計画」の中で具体的な方針を定めていくことになる。

Q. 小学校の再編については、再編するかどうかを今から検討するのか？

A. 令和7年度以降のできるだけ早い時期を念頭に調整を進めている。

各学校の学校運営協議会等からいただいたご意見（抜粋）

大和地域以外の人を呼び込める学校にしたい。地域、学校、教育委員会が一体となって頑張る必要がある。

保護者の立場から見ると、やまと学園や小学校の再編の取組は良いことだと感じる。

再編等の際には、子どもたちに負担のないようにしてほしい。

小学校を再編すると、既存の複式学級は解消されるが、複式学級の良い面もある。いずれにしても、子どもたちにとって一番良い環境となるようにしてほしい。

合同学習の機会が増え、子どもたちの社会性や積極性が目に見えて向上しているように感じている。少人数の良さもあるが、社会性や多くの人との関わりも持たせてあげたい。

校舎に思い入れはあるが、子どものことを最優先に考えると、より良い学習環境にしてほしいと思う。

小学校の再編については、できるだけ早く実施してほしい。

再編や新設については、大きなところに吸収されてなくなってしまうことをおそれていたが、そうではないことが分かって良かった。

伝統の担い手である継承者の意見を大切にしてほしい。地域部会での協議に協力してもらってはどうか。